# 行政評価(施策評価シート)

#### 1 基本項目

基本目標3 ふれあいと活力のあふれるまち

基本施策2 地域とともに歩む魅力ある産業の育成

施策19 商業

#### 基本方針

商店等の魅力を高めるための個別支援を行うとともに、にぎわいのある商業集積を進め、活気に満ちた地域商業の振興を図ります。

#### 2 指標(長期総合計画目標指標)

THE MAN THE	47 77 10 H H H H H H H H H H H H H H H H H H								
	指標名	現場	<b>†</b>	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	目標値 (平成28年度)
指標1	指標1 小売吸引力指数		(平成19 年)	0.61%	1	1	0.62%	-	0.90%
指標2	市政世論調査における商業振興 施策への満足度	50.40%	(平成22 年度)	-	1	1	45.00%	-	55.00%

3 施策を構成する平成28年度事務事業の実施・評価結果

3 <u>ル東を構成する十成26年度事務事業の実施・計画和業</u> □ 平成28年度実施結果 評価(所管課長) <sub>指揮に係る</sub>											
		平成2	28年度実施	結果		評価(所	管課長)		指標に係る		
N	事業名	決算/円	予算執行 率	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	方向性	重点事務事業		
1	産業振興計画の推進	-	-	計画どおり 完了	0	0	0	Α			
2	羽村地域産業振興懇談会の開催	-	-	計画どおり 完了	0	0	0	A			
3	創業支援事業の実施	19,037,146	99.7%	計画どおり 完了	0	0	0	A			
4	大規模商業施設等の出店に対す る対応	-	-	計画どおり 完了	0	0	0	Α			
5	大規模商業施設との共存共栄の 推進	-	-	計画どおり 完了	0	0	0	A			
6	地域商業への支援	41,904,000	100.0%	計画どおり 完了	0	0	0	A	*		
7	商工会活動への支援	44,710,000	100.0%	計画どおり 完了	0	0	0	Α			
8	商店会等の活性化	20,146,239	100.0%	計画どおり 完了	0	0	0	Α	*		

#### 4 施策評価

#### ①施策の評価

市内の小売吸引力指数が低下する中、商店等の経営向上を図るため、助成金の制度を活用したり、企業活動支援員の企業訪問により、企業の経営相談、経営支援の実施や、小規模事業者向けの国の支援施策の活用促進、中小企業診断士実習生による経営診断等も合わせて行うなど個人商店へのきめ細かな支援を行うことができた。

商店会への財政的支援については、商店会等の魅力を高めるため、羽村東口商店会・本町西口商店会、マミーショッピングセンター商店会へ財政的支援を行い、イベントを実施し商店会のにぎわいと活性化を図ることができた。

また、地方創生交付金を活用した羽村にぎわい商品券を発行し、市内の消費喚起を行い、活気に満ちた地域商業の振興 を図ることができた。

大規模商業施設の出店に対しては、庁内検討委員会を実施し共通認識のもとに問題点などについて、検討事項をとりまとめ、事業者に対して市のまちづくりへの理解を求めるとともに、都市環境や自然環境など近隣の生活環境への影響の抑制していくための対応を講じるよう働きかけ、市内の良好な環境の維持に向けて取り組んだ。また、市内商店と大規模商業施設がともに発展し共存共栄していくため、個展の魅力を発信する取組みを行った。

なお、平成27年度に実施した市政世論調査における商業振興施策への満足度が前回調査より低下しており、今後、より 効果的な商業振興施策に取り組む必要がある。 商店会をはじめ、市内商業の活性化を図るため、引き続き、各商店会イベントの実施や個別訪問事業等を行うことにより、 商店等の魅力向上につながる活動支援を行っていく。

指標としている小売吸引力指数の調査は3年ごとのため今回は数値化していないが、今後も商店会事業や商業・観光振興事業の支援を強化することで、買い物客を外部から誘引する対策を講じていく。

大規模商業施設の出店については、今後の動向を確認し、情報を得ながら市内事業者と出店者との共存共栄を図るための検討を行っていく。

大規模商業施設の出店については、市民や市内事業者と出店者との共存共栄を図るとともに、市全体の産業力を高めるパートナーとして、街に賑わいと活力を創出していくための協議を継続していくとともに、道路や公園などの周辺都市施設整備や周辺住民の生活環境への影響について、引き続き働きかけ取り組んでいく。

平成28年度 【基本ン一	·L】	/ <del>/</del>	<del>*</del>	ı		<u> </u>	71		소 <del>쌍 년</del> 예 = #
1.基本項目 事業名		作成 開始		中佐	<u> </u>	集環境 剖		運営手法	産業振興課   進行管理
<del>事業</del> 石 1 産業振興計画の推進		平成			州旧_	事業種自治事務			進1]官垤
01		1 //	 年			独自)	$\dashv$		
02									
			年 						
03			— ————						
04			年						
05			年						
関連課									
基本目標 3 ふれあいと活	f力のあふれるま <sup>、</sup>	ち 施策	区分	19		商業	4	事業番号	1
2.事業の概要			<u> </u>						
事 産業振興計画を点検・ 業 即した計画の継続的な									こニーズに
容									
根拠法令									
条例 要綱等									
3.成果指標									
成   地域とともに歩む魅;   果     目     標	カある産業の <sup>:</sup>	育成							
4.活動指標									
Plan(計画) 平成27	/ 年度(現況) <b>-</b>	<del>ज टी</del>	20年	<b>#</b>		3か年計 7世20年		1 <del>ਹ 1</del>	20年度
計画の策	定	<u> </u>	28年月	፟፟፟፟፟፟፟፟፟	同左	<del>"</del> 成29年	<u> </u>	同左	30年度
 	  委員会 5回   J	宁内推進委員	昌会(仮	称)設	<b>庁内推</b>	進委員会(化	反称)の	同左	
77777		置及び運営		117 112	運営	~~><~	×137-5	17.2	
事業内容									
事業量等	- 1								
	- 1								
5.投入指標(成果の達成、							<b>ネ ]</b> )	•	
	要する人数と1 平成27年原			<u>間業務</u> 或28年			29年度		成30年度 
職層∙職種別		算時間	人数		時間		既算時		概算時間
係長職	1人	988 H	1人		93 H	1人		11 1人	93 H
主事·主任職 ②総事業費	0人	0 H	1人		93 H	1人	93	H 1人	93 H
事業費の内訳(単位:千F	円) 平成27年月	度(現況)	平月	<b>或28年</b>	度	平成	29年度	平原	成30年度
事業費 人件費(係長職)		581			463			0 463	0 463
人件費(徐安頓) 人件費(主任·主事職)		4,979 0			317			317	317
総事業費(合計)		5,560			780			780	780
国庫支出金		0			0			0	0
都支出金 受益者負担額		0			0			0	0
その他特定財源		0			0			0	0
一般会計繰入金		0			0			0	0
起債   一般財源(人件費含む	5)	5,560			780		-	0 780	0 780
財源内訳(合計)	17	5,560			780			780 780	780
③コスト計算	<b>7</b>								
	1人における1						14	円	
イ 対象者   ウ 成果物	_人における1 _の 出来高	人めたり	いコン	ヘトは、	<u> </u>	$\Phi$	ストは	円	一一一円
ン 成未物 [ ※ 対象者:	コペ 日~回[					<i>\( \sigma \)</i>	N1 10	[	

<b>20 (実行)</b>									
平成27年度に策定した羽村市産業振興計画いては、羽村市産業振興計画推進委員会や評価等を行った。 羽村市産業振興計画推進委員会(年2回)実施羽村地域産業振興懇談会(年2回)実施。	羽村地域産業振り								
②投入実績		マ佐に	/ E (b)	\ <b>+</b> \(\rho \chi \)	T 1+12=====				
決算の内訳(単位:円) 予算額(当初) 事業費 0	補正•流用額	予算額	( <u>最終)</u> 0	決算額	<ul><li>類 執行率</li><li>-</li></ul>				
<del>サ</del> 木貝			<u> </u>						
前年度(今までの状況)				になったか					
産業振興計画案をもとに、工業・商業・農業・観光の各産業分野を一元化した産業振興計画を策定した。	計画に定める事業村地域産業振興推進する体制を動ける進捗は、概念	懇談会る	を有効に	活用して、きた。平成	点検、評価、				
②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値									
対象者(物)	本年度:目標	値		本年	度:実績値				
			⇒						
Check(評価) 8.評価 ①事業評価(改善等、課題を発見する視点)	<ul><li>◎・・・適切である</li><li>○・・・適切なもの</li><li>△・・・課題があり</li></ul>	)							
項目 評価のポイント			頁目の着	眼点	課長評価				
妥 û ·上位施策(基本目標·施策)を達成する 当 要 ·今の社会情勢に見合う事業内容となった。 性 ·利用者·対象者のニーズ(需要)はある	っているか るか	事業0	)必要性	びつくか、 はあるか	0				
効 ( ・活動手法を見直し、人件費・事業費の 率 法 性 )	削減余地はないか	経費・	·落とさす 労力で事 ・ているか	務が執	0				
有 ( *事業の目標が達成されているか 効 <sub>果</sub> 性 ( )		-   成果∑   いるか		が表れて	0				
②事業評価(今後の方向性についての視点)					^# C				
1	当性•有効性〕		_		今後の 方向性				
低 改善の検討 より効果的に ← C:事業規模・内容又は実施主体の身 D:事業の抜本的見直し、休止・廃止			当高	<b>小率性</b> 〕	Α				
低									

#### Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性

#### 評価(所管課長)

平成28年度においては、計画に沿って事業の実施や進行管理を行う事ができた。引き続き、計画の数値化や、商業や農業等における連携の必要性について、羽村市産業振興振興計画推進委員会、羽村地域産業振興懇談会から意見を聴取し、計画の推進を図っていく。

		28年度		基本シート】		,, ,,				·			
1.	基ス	<u> </u>		古光力			部署			環境 部	( NED 3)		産業振興課
				事業名			1年度		期間	事業種別自治事務(市		手法	進行管理
2	羽柱	寸地域点	<b>全業振</b>	興懇談会の開催	<u></u>	平成	25 年	継続		日冶事務(巾 独自)	直営		
	01						年						
	02						年						
	03						年						
	04						<del></del> 年						
	05						年						
	関連	 連課				ļ	<u>'</u>						
			3 s	 れあいと活力の	あふれる	まち 施策	区分	19		 商業	事業	番号	9
2.	事美	美の概	 要										
事				に取り組む									小•小規模
業内		業の網	怪営力	を強化するが	ため、懇話	炎会を開催	崔し、地	地域経済	斉の活	性化を推進	≜します	0	
容		+ 🛆											
	·拠》 ·例	去令											
要	綱												
		指標		## H L 6 /=	1# /D \#		1. 1 <del>. 1. 4. 4. 4. 4.</del>	+ ~ \r	* Jul. 11 .				
成果		域産剤	美文援	機関との連	携促進、	およひキ	也域経	済の活	订生1七。	•			
目標													
		助指標											
		n【計[		平成27年度	至(祖紀)					3か年計画			
	1 16	KAII	=12	懇談会の開催	Z (967)67	同左 同左	28年	<b></b>	同左 同左	·成29年度	同力		30年度
				を設会の開催 年2回		年2回			年2回		年2		
						産業振興計	・画の進行	<b>丁管理</b>	同左		同名	Ē	
		業内:											
	手	未里:	र्ग										
Ļ	+几:	1 十七十五	/出田	 の達成、及び	7.注酬士	<u> </u> スセルロ	ᄱᇻ	2 次汇	<b>!</b>	エルカラ】	<u> </u>		
_		へ担信 牛費		の達成、及じ 熱行に要す							)		
	7 71		<u>■ / //</u> 롤•職種		平成27年	度(現況)	平月	成28年	.度	平成29			<b>艾30年度</b>
15	長耳		<b>⇒ 4戌</b> 人个	エルコ		現算時間	人数		時間		時間	人数	概算時間
		<sub>眺</sub> 主任	歆		1人	45 H 15 H	1人 1人		45 H 15 H	1人	45 H 15 H	1人 1人	45 H 15 H
		事業費			<u> </u>	10 11	<u> </u>		10 11	· ^	10 11	1 /	
	業	豊の内		単位:千円)	平成27年	度(現況)	平月	<b>成28年</b>		平成29年		平原	t30年度
		業費 件費(f	医巨胎	#)		0 227			224		0 224		0 224
				主事職)		54			51		51		51
総	事	業費(台	(信台			281			275		275		275
		庫支出				0			0		0		0
		支出金 益者負				0			0		0		0
		の他特				0			0		0		0
		般会訂	†繰入	金		0			0		0		0
	起		5 (	件費含む)		0 281			275		0 275		0 275
目		<u>取別が</u> 内訳(さ		十貫 召 化 /		281			275		275 275		275 <b>275</b>
		ト計算										I	
	市			56,281 人		-					5円		
		象者				1人あた <sup>し</sup>	りのコス	ストは、			円		
		果物			出来高					のコスト	・は 🔼		円
_\/	- V.I	象者:											

Do【実行】 【進行管理】 6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、 レ計画どおり完了 計画を見直し完了(える) ①活動実績(Plan【計画】及び事中評価におけ ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場	欠年度以降計画を ける改善についてな	見直す k年度と	このような	活動を実	 中断 施したか)	
平成27年度に策定した羽村市産業振興計画いては、羽村地域産業振興懇談会へ報告し、羽村地域産業振興懇談会(年2回)実施。					淫施結果に	ij
②投入実績					- 111	
決算の内訳(単位:円)   予算額(当初)	補正•流用額	予算額		<b>決算</b> 額	真 執行	<u> </u>
事業費 0 7.成果結果			0			
ハバ末和末 ①活動、投入実績から生じた成果(物)						
前年度(今までの状況)	今年	度(どう	いう状態	になったか	١)	
地域の中小企業を支援するための産業支	計画に定める事業	業の進掘	歩を管理	し、羽村地	域産業振り	興懇
援機関(市·商工会·金融機関·各専門家団	談会を有効に活用					
体等)で組織する地域産業振興懇談会を2	することができた。	。平成2	8年度に	おける進捗	は、概ね言	計画
回開催した。 各団体が行う創業支援策を創業支援事業	どおりであった。					
計画としてまとめ、各団体の役割を共有する						
とともに、創業支援事業計画については国						
への認定申請を行った。						
②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値						
対象者(物)	本年度:目標	値		本年	度:実績値	
			$\Rightarrow$			
Check【評価】	◎・・・適切である	が、今後	<b>後、より</b> 対	大いに改	善するもの	)
8.評価	〇・・・適切なもの					
①事業評価(改善等、課題を発見する視点)	△・・・課題があり				無馬	Iπ
項目 評価のポイント	カル 心 亜 か 車 衆 か		頁目の着	<u> </u>	課長評価	100
妥 û ·上位施策(基本目標・施策)を達成する 当 要 ·今の社会情勢に見合う事業内容とな 性 ·利用者・対象者のニーズ(需要)はあ		7.他束7		びつくか、		
性 ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあ		┆事業0	り必要性	はあるか		
効 ○ ・活動手法を見直し、人件費・事業費の		成果を	・落とさす	、最少の		
効 ( ・活動手法を見直し、人件費・事業費の 率 法 性 )			労力で事			
性①		行され	ているか	١	)	
有 ( ・事業の目標が達成されているか		□战里又	7は効果	が表れて	)	
有 ( *事業の目標が達成されているか 効 果 性 ( )		いるか		70 TX 10 C	$\circ$	
注		<u> </u>				
	当性·有効性〕					)
	11 620117				方向性	
B:事業の進め方の A:計画どおりに	事業を進めること	:、又は.	$\Box$		<u> </u>	
低 改善の検討 より効果的に	改善して進めるこ		当高			
← C:事業規模・内容又は実施主体の			→〔欬	加率性〕	Λ	
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止	の検討				$ \wedge $	
↓ 低						
لاعا						

#### Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性

# 評価(所管課長)

平成28年度においては、計画に沿って事業の実施や進行管理を行う事ができた。引き続き、計画の数値化や、商業や農業等における連携の必要性について、羽村地域産業振興懇談会から意見を聴取し、計画の推進を図っていく。

平成28年度 【基本シート】

1.	基本項目			作成部署		美環境 部		産業振興課
			事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
3	創業支援事業の実施		平成 26 年	期間設定5年	自治事務(市 独自)	その他		
	01			年				
	02			年				
	03			年				
	04			年				
	05			年				
	関連課							
基	基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	事業番号	10

### 2.事業の概要

事」地域金融機関・産業支援機関・商工会等と連携して、創業支援のワンストップ窓口の設置や創業セミ 

根拠法令 条例 要綱等

3.成果指標

成市内での創業を支援果目

標 4.活動指標

T./11 3/11 1/15			3か年計画	
Plan【計画】	平成27年度(現況)	 平成28年度	平成29年度	平成30年度
	創業支援コーディネータの 設置 1人	同左	同左	同左
事業内容		産業福祉センター創業支援 スペースの運営	同左	同左
事業量等	ミニ・ブルーム交流カフェ等 創業支援セミナーの開催 4 回		同左 10回	同左 10回
	相談会等の開催 10回	同左 22回	同左 22回	同左 22回
	創業支援補助金創設検討	創業支援補助金の支給 2 件	同左 2件	同左 2件

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成27年度(現況)		平月	成28年度	平月	或29年度	平成30年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	130 H	1人	150 H	1人	110 H	1人	130 H
主事・主任職	1人	15 H	1人	130 H	1人	90 H	1人	105 H

②総事業費

	1.0 1 1122				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費	6,560	19,091	19,091	19,091
	人件費(係長職)	656	747	548	647
	人件費(主任・主事職)	54	442	306	357
総	事業費(合計)	7,270	20,280	19,945	20,095
	国庫支出金	4,100	0	0	0
	都支出金	0	0	0	0
	受益者負担額	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般会計繰入金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	一般財源(人件費含む)	3,170	20,280	19,945	20,095
財	源内訳(合計)	7,270	20,280	19,945	20,095

イ 対象者人に	おける1人あたりのコストは、 おける1人あたりのコストは、 出来高		360円 円 小は	
Do(実行) 【進行管理】 6.実施結果(本年度における、4) 計画どおり完了 】計画を引きる。 計画を見直し完了、遅延、中平成28年4月、市・商工会・金融けた。 本計画に基づき、創業支援セミによる個別支援、創業支援セミナー開催回数:111 創業支援コーディネーター相談また、創業支援補助金制度を創また、創業支援補助金制度を創また、創業支援補助金制度を創また、創業支援補助金制度を創また、創業支援補助金制度を創また、創業支援補助金制度を創また。	見直し完了(次年度以降計画中評価における改善について断となった場合は、理由、内容機関等による羽村市創業支土一、創業窓口相談会を開催を入る。 一、創業窓口相談会を開催を入る。 一ス・サロンの登録者等へ情な。 回/延べ参加者数143人窓 件数:170件 創業支援スペ	を見直す) (こ本年度どのようななどを記入する) (選事業計画を策ないまする) (選事業計画を策ないまするとともに、創報提供、不動産業) (口相談会開催回	こと。 定し、5月に「 業支援コー 美団体との〕 数:20回/ご	国の認定を受 ディネーター 連携による市 相談件数22件
②投入実績 決算の内訳(単位:円) 事業費 7.成果結果 ①活動、投入実績から生じた成	予算額(当初) 補正·流用額 19,091,000	予算額(最終) 19,091,000	決算額 19,03	類 執行率 <b>37,146</b> 99.7%
前年度(今までの状況 前年度(今までの状況 創業支援に関するセミナー(5回 会(10回)の実施、創業支援コー ター2名の配置、また併せて創業 スの開設により、創業希望者の 別支援を行った。	元) 今  )・窓口相談	年度(どういう状態 こよって、新たな 経営活動を行うこ	事業創出を	促進し、創業
②4.活動指標のPlan【計画】にお 対象者(物)	いて、目標値を数値化してし 本年度:目		本年	度:実績値
Check(評価) 8.評価 ① 事業評価(改善等、課題を発	<ul><li>○・・・適切なも 見する視点) △・・・課題があ</li></ul>	り、今後、改善が	必要なもの	<u> </u>
妥 û ·上位施策(基本目標·施第 当 要 ·今の社会情勢に見合う 性 <sup>性</sup> ·利用者·対象者のニーズ	(需要)はあるか	─────────────────────────────────────	がつくか、 生はあるか	課長評価
率 法 性 <sub>○</sub>	費・事業費の削減余地はない	か!成果を落とさ 経費・労力で 行されている ──成果又は効男	事務が執 か	0
有 ( ・事業の目標が達成されて 効 <sub>果</sub> 性 (		いるか		

#### Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性

#### 評価(所管課長)

今後も創業希望者のニーズに合わせたセミナーの企画運営を行うとともに、創業支援コーディネーター によるきめ細かな個別指導を充実していく。

また、商工会や金融機関等様々な産業支援機関や専門家団体との連携を強化し、創業希望者への具体的な支援を行っていく。

平成28年度 【	基本シート】									
1.基本項目	<b>支票</b> 2			部署	<del></del>		総務 部	्रक्त <u>१</u> ४		企画政策課
	事業名			<u>年度</u>		期間	事業種別自治事務(市		]手法	進行管理
4 大規模商業施設等	等の出店に対す	「る対応	平成	25 年	その他		独自)	直営		
01				年						
02				年						
03				— 年 						
04				年						
05				年						
関連課 産業	課·環境保全	:課•都市	<u></u>				ļ			
	れあいと活力の			区分	19		 商業	事業	番号	8
2.事業の概要	-10030103303			, E /J				7 7	. ш - Ј	•
事大規模商業施	設等の出店	にあたっ	ては. 事	業者に	対して	市のま	きちづくりへん	カ理解	を求め	るとともに、
業										
<sub>内</sub>   けます。										
根拠法令										
条例										
要綱等 3.成果指標										
成 大規模商業施	設等の出店	にあたり	、事業者	きとの	点議・	調整	を行うこと	で、市	のまち	づくりへ
果の理解を求め						H-1		- ( - 1-		
日     標										
4.活動指標			•							
Plan【計画】	平成27年度	夏(現況)	₩ 7	28年月	左 1		3か年計画		जर ती	00左座
	事業者との協議・調整					<u></u> 同左	成29年度		半队	30年度
	法令に基づく宅	<b>地</b> 用発指導	同左			同左				
			周辺の生活	環境の係	全対応	同左		同左	Ē	
事業内容										
事業量等										
5.投入指標(成果			_			_				
	<u> 熱行に要す</u>		:1人当た   度(現況)		<u>間兼務</u> 成28年		】 平成29年	- 帝	<u> </u>	t30年度
職層•職種	種別		玩算時間 現算時間	人数		<del>反</del> 時間		- <u>反</u> 時間	人数	概算時間
係長職		5人	56 H			56 H		56 H	5 人	56 H
主事・主任職		0 人	0 H	0人		0 H	0人	0 H	0人	0 H
②総事業費	出た。イロ)	亚出加左	帝(明治)	1 17	成28年	曲	平成29年	- 中	₩ =	<b>找30年度</b>
事業費の内訳 (. 事業費	単位:千円)	十八2/年	<u>度(現況)</u> 0		<u> 观28年</u>	· <u>皮</u> 0	十八29年	- <u> </u> 0	十八	<u>以30平段</u> 0
人件費(係長聯	哉)		1,411			1,393		1,393		1,393
人件費(主任・			0			0		0		0
総事業費(合計)			1,411			1,393		1,393		1,393
国庫支出金			0			0		0		0
	都支出金 受益者負担額					0		0 0		0
その他特定財	0			0		0		0		
一般会計繰入	一般会計繰入金					0		0		0
起債	0 1,411			0		0		0		
	一般財源(人件費含む)					1,393		1,393		1,393
財源内訳(合計)		ļ	1,411			1,393	<u> </u>	1,393		1,393
ア市民	56,281 人	における	1人あたし	りのココ	ストは			25 円		
イ対象者			1人あたり							
ウ成果物		出来高		/	100	<u> </u>	のコスト			円
							- ·			

※ 対象者:

6.実施 レ 計画 ①活動	<b>行</b> 】 【進行管理】 結果(本年度における 延どおり完了 □ 計画  実績(Plan【計画】及び  を見直し完了、遅延、	を見直し完了(2 事中評価におけ	欠年度以降計画を ける改善について	を見直す 本年度と	このような	活動を実	□ 中断 施したか)
大規模 めると よう働き を高め	商業施設の出店にあた ともに、都市環境や自然 きかけた。 あわせてするパートナーとして街口	たり、検討事項の 然環境など、近 で 民や市内事業	のとりまとめ、事業 隣の生活環境への 者と出店者とのま	養者に対 の影響を 共存共栄	して市の 抑制して を図ると	まちづくり いくための ともに、市	対応を講じる
②投入 決算の		字符码/业切\		予算額	/旦级\	油色菊	店   盐 / (   表
次昇の 事業		▼算額(当初) 0	補正・流用額 0	<u> </u>	(取於) 0	<u>決算</u> 額	項 執行率 □ 0 -
7.成果	結果		j oj				V
<u>①活動</u>	、投入実績から生じた		1		, - Jh 46	1-4- 4 1	. \
₩₩₩	前年度(今までの物質の					になったか	
	:員会を、3回開催し、問 食討及び共通認識の確		検討委員会を、1 び共通認識の確	認につい	いて効率	化を図れた	。周辺道路の
	図れた。		整備については				
	において環境影響評価		議が整い、警視	庁並びに	福生警察	<b>紧著との</b> 設	計協議が完
か行わ	れ、評価書案に係る意	見書の提出を	了した。 また、出店後のス	<b>七</b>	** 体 記 』	-古内商業	老とのサ方サ
11.7/2	0		栄に向けて、商				
			援策の検討を進				
			についての調整	を行った	0		
②4.活	動指標のPlan【計画】に	こおいて、目標値					
	対象者(物)		本年度:目標	票値		本年	度:実績値
					⇒		
Check 8.評価	·		<ul><li>◎・・・適切である</li><li>○・・・適切なもの</li></ul>	)			
	評価(改善等、課題を		△・・・課題があり				
項目		価のポイント	カ / - 心 西 <b>ナ</b> ) 市 <b>米</b> /	_	頁目の着	眼点	課長評価
当性 性 ·	上位施策(基本目標・別 今の社会情勢に見合 利用者・対象者のニー	う事業内容となっ -ズ(需要)はある	っているか るか	事業0	D必要性	びつくか、 はあるか	0
効率性 有効性 (手法)(成果)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか				を落とさず 労力で事 しているか	務が執	0
	・事業の目標が達成されているか				スは効果	が表れて	0
	評価(今後の方向性に					7	A 41
【今後0	の方向性】	高〔妥〕	当性∙有効性〕				今後の 方向性
低	B:事業の進め方の 改善の検討 - C:事業規模・内容又 D:事業の抜本的見証	より効果的に は実施主体の身			当高	加率性〕	Α
		低					

#### Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性

#### 評価(所管課長)

周辺道路の設計協議が完了したことから出店に向け、事業者に対し、公園などの周辺都市環境施設の整備や近隣の生活環境への影響についての抑制など、課題解決に向け働きかけていく。また、市内事業者との共存共栄を図るため、市全体の産業力を高められるパートナーとして、街に賑わいと活力が創出されるように調整を進めていく。

平成28年度 【基本シート】									
1.基本項目		作成	部署		産業	集環境 部			産業振興課
事業名		開始	ì年度	実施	期間	事業種別	運営	手法	進行管理
5 大規模商業施設との共存共業の	の推進	一不明	年	継続		自治事務(市	直営		
		+				独自)	1		
01			年						
02			年				Ī		
							<del> </del>		
03			年 				<b>_</b>		
04			年						
05			<del></del> 年						
	io ct ret EM								
関連課 企画政策課・広幸		T					Т		1
↓ 基本目標 3 ふれあいと活力の	のあふれるまた	5   施策	区分	19		商業	事業	養子	7
2.事業の概要		·		•					
事大規模商業施設等の出店	による商業	美環境の	変化に	這適切	に対応	することで、	、市全位	本の産	業力を高め
業るパートナーとして、大規格の特性を活かります。	<b>模商業施設</b>	と商店が	が共存	共栄し	ていく	環境を創出	けるた	め、商	店による地
	品の開発等	を促し、	ま5σ.	)顔とな	よる魅	力ある店づり	くりを支	援しま	す。
根拠法令									
条例									
要綱等									
3.成果指標									
成 市内商業の共存共栄の支  果	泛援								
標									
4.活動指標									
Plan【計画】 平成27年)	变(現況) ┣	<del></del>	÷ 0 0 /= F	<del></del>		3か年計画		<del></del>	00 to the
			28年月	<u> </u>		<del>Z</del> 成29年度	++ 7		30年度
共存共栄事業	の快引	司左				栄事業の実施 店のテナント出り		字共栄事業 生	長の推進
					共同イク	ベントの開催	同艺	토	
					共通ホ·  運用	イントカードの導	人   共业	<b>恵ホイント</b>	カードの運用
事業内容									
事業別分									
<del>丁</del> 未里守									
5.投入指標(成果の達成、及	<u>び活動する</u>	ために	役入す	る資源	[[ [ [	モノ・カネ】	<u> </u>		
①人件費 【事務執行に要す									
職層∙職種別	平成27年度			<b></b>		平成29年			成30年度
		算時間_	人数	概算	時間		[時間	人数	概算時間
係長職	1人	160 H	1人		160 H		160 H	1人	160 H
主事・主任職	1人	80 H	1人	1	100 H	1人	100 H	1人	100 H
②総事業費	ᄑᆣᇬᆂ	左/TB:D\	। ज	toot	曲	TT HEAD &	- <del>-</del>	ज र	#20左 <del>库</del>
事業費の内訳(単位:千円) 事業費	平成27年度	<u>t(現況)</u> 0	<del>  'Y</del> )	<b></b>	<u>- 度</u> 0	平成29年	<u>‡度</u> 0	<del>  半</del> 片	<u>成30年度</u> 0
人件費(係長職)	+	807			796		796		
人件費(主任・主事職)		288			340		340		340
総事業費(合計)	+	1,095			1,136		1,136		1,136
国庫支出金		0			0		0		0
都支出金	†	0			0		0		0
受益者負担額	1	0			0		0		0
その他特定財源	1	0			0		0		0
一般会計繰入金		0			0		0		0
起債		0			0		0		0
一般財源(人件費含む)		1,095			1,136		1,136		1,136
財源内訳(合計)		1,095			1,136		1,136		1,136
③コスト計算					-				
	、における1	-					20 円		
	、における <u>1</u>	<u>人あ</u> たり	りのコス	ストは、			円		
ウ 成果物 <i>σ.</i>	)出来高[					のコスト	は		円

ウ 成果物 | ※ 対象者:

#### 平成28年度 【事後評価】 Do【実行】 【進行管理】 <u>6.実施結果(本年度にお</u>ける、4.活動指標と、5.投入指標の結果) |**レ**||計画どおり完了 | □||計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断 ①活動実績(Plan【計画】及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか) ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。 産業祭において、市内産の野菜を使った商品開発や、はむらイルミネーションイベントにおいて激辛フェ スタを開催した。 ②投入実績 決算の内訳(単位:円) 予算額(当初) | 補正·流用額 | 予算額(最終) 決算額 執行率 事業費 7.成果結果 ①活動、投入実績から生じた成果(物) 前年度(今までの状況) 今年度(どういう状態になったか) 東京都緊急雇用創出事業補助金「地域性 大規模商業施設と商店が共存共栄していく環境を創出す ある商品・サービスづくり」を活用し、事業 るため、産業祭において、市内産の野菜を使った商品開 発や、小作駅周辺で激辛フェスを計画するなど、個店の魅 者・市民ととともに羽村らしさについてイメー ジ作りを行い、個々の事業者の商品づくりを|力を発信する取組みを支援することができた。 支援した。 売れる商品・継続性ある商品づくりのため の、市民連携による評価方法の検討・実施 とともに、効果的なPRについて検討を行っ た。個々の商店が魅力ある商品づくりや店 舗づくりを行うための支援を進めることがで きた。 ②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合 本年度:目標値 本年度:実績値 対象者(物) Check【評価】 ◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの 8.評価 〇・・・適切なもの ①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 性	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、 事業の必要性はあるか	0
効率性(手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の 経費・労力で事務が執 行されているか	0
有効性	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れて いるか	0

②車業証価(会後の士白州についての担占)

(2) 事業計画(う後の分間) 注についての代点)	
【今後の方向性】 高 〔妥当性·有効性〕 ↑	今後の 方向性
B:事業の進め方の A:計画どおりに事業を進めること、又は、 低 改善の検討 より効果的に改善して進めることが適当 高 ← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 → 〔効率性〕 D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討  低	Α

#### Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性

#### 評価(所管課長)

現在、大規模商業施設の出店が不透明な状況であるが、今後の出店に備えて創意工夫し、個店の魅 力を引き出すことで、共存共栄できる方策を講じていく。

【基本シート】 平成28年度 作成部署 産業振興課 1.基本項目 産業環境 部 事業名 開始年度 実施期間 事業種別 運営手法 進行管理 自治事務(市 業務委託(一 6 地域商業への支援 不明 年 継続 独自) 部) 年 01 02 年 年 03 年 04 年 05 関連課 基本目標 3 ふれあいと活力のあふれるまち 施策区分

2.事業の概要

|事||企業活動支援員等により商店等の個別支援や経営力の向上を図るためのセミナーを開催し、商業 \*||者の魅力発信を支援します。

19

商業

事業番号

2

根拠法令 条例

要綱等 3.成果指標

|成||地域商業者への支援

目 標

4.活動指標										
Plan【計画】	平成27年度(現況)		3か年計画							
PlanL計画』	十成2/年及(現流)	平成28年度	平成29年度	平成30年度						
	補助	同左 訪問件数660件 同左 第8弾 事業継続の検討	同左 訪問件数660件	同左 訪問件数660件						
	地域人づくり事業活用による(仮称)羽村ブランド創設 についての調査・研究・支援		同左	同左						
事業内容 事業量等	はむりんグッズの開発・販売支援	同左	同左	同左						
<b>,</b>	  羽〜杜プロジェクト事業の  支援	同左	同左	同左						
		同左	同左	同左						
	産業祭での企画展の実施 商工会等によるブランド品 の考案支援	同左	同左	同左						
	はむらe-市場への支援 利用実績169件 平成27年12月現在	同左	同左	同左						

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層•職種別	平成27年度(現況)		平月	成28年度	/	成29年度	平成30年度		
明 月 · 明代生力!	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	
係長職	1人	140 H	1人	140 H	1人	140 H	1人	140 H	
主事·主任職	1人	110 H	1人	110 H	1人	110 H	1人	110 H	

の終重業費

	<b>公</b> 称争未复				
-	事業費の内訳(単位:千円)	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費	76,875	41,904	36,647	16,647
	人件費(係長職)	706	697	697	697
	人件費(主任・主事職)	396	374	374	374
1	総事業費(合計)	77,977	42,975	37,718	17,718
Ī	国庫支出金	20,985	0	0	0
	都支出金	13,804	1,607	0	0
	受益者負担額	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般会計繰入金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	一般財源(人件費含む)	43,188	41,368	37,718	17,718
ij	財源内訳(合計)	77.977	42.975	37.718	17.718

イ 対象者人における1ウ 成果物の 出来高※ 対象者:	人あたりのコストは、   人あたりのコストは。	•	円 <u>円</u>						
平成28年度 【事後評価】  Do【実行】 【進行管理】 6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)  レ計画どおり完了									
①活動実績(Plan【計画】及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか) ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。 羽村市商工会への委託事業として、中小企業診断士等の資格を有する企業活動支援員による経営相談、経営診断等の企業支援を行った。平成28年度商業系事業所訪問回数:延べ650件。また、平成28年2月に発行したにぎわい商品券第8弾について支援を行った。最終換金率:99.94%また、羽〜杜プロジェクトは、今年度4回、会議を開催し、羽村市と北杜市の市と商工会で「ジビエ(鹿の肉)」のブランド化に向け、現地の視察等を行い、販路開拓について議論した。産業祭においては、企画展として羽村の野菜を使った野菜グランプリを開催した。はむりんを活用した「はむりんグッズ」の開発の支援を行った。									
②投入実績			\_ \tau_						
決算の内訳(単位:円) 予算額(当  事業費 41,904		予算額(最終) 41,904,000	決算額執行率41,904,000100.0%						
7.成果結果 ①活動、投入実績から生じた成果(物) 前年度(今までの状況) 企業活動支援員が企業訪問を行い、企 の経営相談、経営診断等を企業経営支 実施し、具体的な課題解決のために地 生交付金を活用した施策を行うことで地 商業者への支援ができた。 市内共通商品券については、地方創生金でのスペシャル、引き続いて第8弾をもし、市内の消費喚起を行い、参加加盟に ンケートによると約20%が売り上げが伸 たと回答を得た。 また、羽村地域産業振興懇談会を開催新たに創業支援を強化していくための意 交換を行い創業支援事業計画としてまる 交換を行い創業支援事業計画としてまる。 ②4.活動指標のPlan【計画】において、国対象者(物)	全業活動支援 発行による市内 方創 た。また、羽〜 のブランドなっ 交付 発行 をが をが をが をが をが をが をが をが をが をが	- v - v - る場合	市内共通商品券のこおける企画(野菜を援を行うことができ、「ジビエ(鹿の肉)」						
Check【評価】 8.評価 ①事業評価(改善等、課題を発見する視項目 評価のポイン	<ul><li>○・・・適切なも 引点) △・・・課題がある</li></ul>		なもの						
妥 💪 ・上位施策(基本目標・施策)を達成 当 要 ・今の社会情勢に見合う事業内容 性 <sup>性</sup> ・利用者・対象者のニーズ(需要)	なする為に必要な事業 そとなっているか はあるか	か 施策体系に結びつ 事業の必要性はあ	<か、 るか						
効 ○ ・活動手法を見直し、人件費・事業 率 法 性 ○		<u>か</u> 成果を落とさず、最 経費・労力で事務 <i>た</i> 行されているか							
有 ( *事業の目標が達成されているか 効 <sub>果</sub> 性 )	·	──成果又は効果が表 ──いるか	int						

# Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性

評価(所管課長)

引き続き、企業活動支援員による企業訪問や、各イベント等による地域商業者への支援を行っていく。

1.基本項目						1 .11					
				部署			環境				産業振興課
	事業名		開始	年度	実施	期間	事業		運営-		進行管理
7 商工会活動	動への支援		昭和	48 年	継続		自治事		も行者へ カ・助成		
								ļ.	別"助队		
01				年							
02				年							
02				·							
03				— ————							
04				年							
05				<del></del> 年							
	ı		ļ								
関連課	<u> </u>		1					1			
基本目標	3 ふれあいと活力の	りあふれるまな	5 施策	区分	19		商業		事業	番号	4
2.事業の概	要		•		•			•			
	が実施する商業振	興事業に対	寸して、補	1助金	を交付	するな	ょどのラ	支援を行	ういま	す。	
業											
内容											
根拠法令											
条例											
要綱等											
3.成果指標											
成 商工会事											
果											
目標											
4.活動指標	<u> </u>										
							3か年記	計画			
Plan【計[	可 平成27年月	雙(現況)┝	平成	28年月	<b></b>		·成29		Т	平成:	 30年度
	運営費•事業費	補助金の交同		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		同左	774_5	1 /2	同左	1 770	1 /2
	付										
	113										
	13										
	13										
事業内											
事業内容	容										
事業内? 事業量等	容										
	容										
	容										
	容										
事業量等	容 等	バ活動する	<i>t-\</i> 0 =‡	⊕ እ ቴ	る資源	Ī[⊬ŀ•	モル・	<u> カネ】)</u>			
事業量等	容 等 (成果の達成、及							カネ】)			
事業量等 5.投入指標 ①人件費	容 等 (成果の達成、及 【事務執行に要す		人当たり	りの年	間業務	時間		カネ】) 成29年』	<b>姜</b>	平6	<b>戊30年</b> 度
事業量等 5.投入指標 ①人件費	容 等 (成果の達成、及	「る人数と1 平成27年度	人当たり 度(現況)	りの年	間業務 <b></b> 28年	時間		成29年月	_		<sup>뷫30</sup> 年度 「概算時間
事業量等 5.投入指標 ①人件費	容 等 (成果の達成、及 【事務執行に要す	る人数と1   平成27年月   人数   概2	人当たり 度(現況) 算時間	<u>り</u> の年 平月 人数	間業務 或28年 概算	時間) 度 時間	】 平 人数	成29年月 概算日	铜	人数	概算時間
事業量等 5.投入指標 ①人件費 職履	容 (成果の達成、及 【事務執行に要す 暑・職種別	「る人数と1 平成27年度	人当たり 度(現況)	Jの年 平J	間業務 或28年   概算	時間	】 平 人数	成29年/ 概算 1	_		概算時間 12 H
事業量等 5.投入指標 ①人件費 職履 係長職	容 (成果の達成、及 【事務執行に要す 暑・職種別	る人数と1 平成27年 人数 概 1 人	人当た <sup>(</sup> 度(現況) 算時間 12 H	Jの年 平 人数 1人	間業務 或28年   概算	時間 度 時間 12 H	平 人数 1人	成29年/ 概算 1	寺間 2 H	人数 1人	
事業量等 5.投入指標 ①人件費 職履 係長職 主事·主任軍	容 (成果の達成、及 【事務執行に要す 暑・職種別 職	る人数と1 平成27年 人数 概 1 人	人当たり 度(現況) 算時間 12 H 12 H	りの年 平月 人数 1人 1人	間業務 或28年   概算	時間 度 時間 12 H 12 H	平 人数 1人 1人	成29年/ 概算 1	寺間 2 H 2 H	人数 1人 1人	概算時間 12 H
事業量等 5.投入指標 ①人件費 係長職 主事・主任期 事業費の内 事業費の内	容等 (成果の達成、及 【事務執行に要す 層・職種別 間 記訳(単位:千円)	る人数と1 平成27年度 人数 概 1 人	人当たり 度(現況) 算時間 12 H 12 H	りの年 平月 人数 1人 1人	間業務 或28年 概算 概算 或28年	時間 度 時間 12 H 12 H	平 人数 1人 1人	成29年月 概算日 1 1 成29年月	寺間 2 H 2 H	人数 1人 1人	概算時間 12 H 12 H
事業量 5.投入指標 ①人件費 「係長職 主事・主任時 事業費の内 事業費の内 本ので表す。	容等 (成果の達成、及 【事務執行に要す 層・職種別 職 (別訳(単位:千円)	る人数と1 平成27年度 人数 概 1 人	人当たり 度(現況) 算時間 12 H 12 H 度(現況)	りの年 平月 人数 1人 1人	間業務 或28年 概算 概算 或28年	時間 度 時間 12 H 12 H	平 人数 1人 1人	成29年月 概算日 1 1 成29年月	寺間 2 H 2 H g	人数 1人 1人	概算時間 12 H 12 H <del> </del>
事業量 5.投入指標 (1)人件費 職 (2)総業事の費 (3)と (4)と (4)と (5)と (5)と (5)と (6)と (7)と (7)と (8)と (8)と (8)と (9)と	容等 (成果の達成、及 (水果の達成、及 (水理の) (水理) (水理) (水理) (水理) (水理) (水理) (水理) (水理	る人数と1 平成27年度 人数 概 1 人	人当たり 度(現況) 算時間 12 H 12 H 度(現況) 44,710	りの年 平月 人数 1人 1人	間業務 或28年 概算 概算 或28年	時間 度 時間 12 H 12 H 12 H	平 人数 1人 1人	成29年月 概算日 1 1 成29年月	寺間 2 H 2 H 2 H <del>5</del>	人数 1人 1人	概算時間 12 H 12 H <b>艾30年度</b> 44,710 60 41
事業量 5.投入指標 ①人件費 職属 (主事・主業費の費 (人件費) (人件費) (本事業費の費 (人件費) (人件費) (会事業費の費 (人件費) (会事業費(会事業費) (会事業費)	容等 (成果の達成、及 (成果の達成、及 (事務執行に要す 層・職種別 (記) (単位:千円) (系長職) 主任・主事職)	る人数と1 平成27年度 人数 概 1 人	人当たり (現況) 算時間 12 H 12 H (現況) 44,710 61 44 44,815	りの年 平月 人数 1人 1人	間業務 或28年 概算 或28年 4	時間 度 時間 12 H 12 H 度 4,710	平 人数 1人 1人	成29年月 概算日 1 1 29年月 44	要 -,710 -60 -41 -,811	人数 1人 1人	概算時間 12 H 12 H <del>艾30年度</del> 44,710 60 41 <b>44,811</b>
事業量等 5.投件費 係事・主業の費 係事・主業の費 人人業費 国庫支出	容等 (成果の達成、及 (成果の達成、及 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	る人数と1 平成27年度 人数 概 1 人	人当たり 度(現況) 算時間 12 H 12 H (現況) 44,710 61 44 44,815	りの年 平月 人数 1人 1人	間業務 或28年 概算 或28年 4	時間 度 時間 12 H 12 H 度 4,710 60 41	平 人数 1人 1人	成29年月 概算日 1 1 29年月 44	专問 2 H 2 H 2 H 5 7,710 60 41 41 0	人数 1人 1人	概算時間 12 H 12 H <b>30年度</b> 44,710 60 41 <b>44,811</b>
事業量 5.投件 (長事・主業の費 (人工業) (大工等) (大工等)	容等 (成果の達成、及 (成果の達成、及 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	る人数と1 平成27年度 人数 概 1 人	人当たい 度(現況) 算時間 12 H 12 H (現況) 44,710 61 44 <b>44,815</b> 0	りの年 平月 人数 1人 1人	間業務 或28年 概算 或28年 4	時間 度 時間 12 H 12 H 12 H (表) (4,710 (4,811	平 人数 1人 1人	成29年月 概算日 1 1 29年月 44	表 支 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	人数 1人 1人	概算時間 12 H 12 H <b>30年度</b> 44,710 60 41 <b>44,811</b> 0
事業量 5.投件 (系事・事業の費 (大事) (本事) (本事) (本事) (本事) (本事) (本事) (本事) (本事) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	容等 ((成果の達成、及する) ((成果の達成、及する) ((成果の達成、及する) ((成果の達成、及する) ((成果の達成、及する) ((成果の達成、及する) ((成果の達成、及する) ((成果の達成、及する) ((成果の達成、及する) ((成果の達成、及する) ((成果の達成、及する) ((成果の達成、及する) ((成果の達成、及する) ((成果の達成、及する) ((なまる) ((a) ((a) ((a) ((a) ((a) ((a) ((a) ((	る人数と1 平成27年度 人数 概 1 人	人当た <sup>し</sup> 度(現況) 算時間 12 H 12 H (現況) 44,710 61 44 <b>44,815</b> 0 0	りの年 平月 人数 1人 1人	間業務 或28年 概算 或28年 4	時間 12 H 12 H 12 H (4,710 60 41 <b>4,811</b> 0	平 人数 1人 1人	成29年月 概算日 1 1 29年月 44	表 5 5 5 6 6 6 6 41 7 8 11 0 0	人数 1人 1人	概算時間 12 H 12 H <b>30年度</b> 44,710 60 41 <b>44,811</b> 0 0
事業量	容等 (成果の達成、及する) (成果の強力に要する) (成果の強力に要する) (成果の強力に要する) (成果の達成、及する) (ではまる) (では、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは	る人数と1 平成27年度 人数 概 1 人	人当た <sup>し</sup> 度(現況) 算時間 12 H 12 H (現況) 44,710 61 44 <b>44,815</b> 0 0	りの年 平月 人数 1人 1人	間業務 或28年 概算 或28年 4	時間 12 H 12 H 12 H (4,710 60 41 <b>4,811</b> 0 0	平 人数 1人 1人	成29年月 概算日 1 1 29年月 44	表 5 5 5 7 7 6 6 4 1 0 0 0 0	人数 1人 1人	概算時間 12 H 12 H <b>艾30年度</b> 44,710 60 41 <b>44,811</b> 0 0
事業量	容等 (成果の達成、及する) (成果の強力に要する) (成果の強力に要する) (成果の強力に要する) (成果の達成、及する) (ではまる) (では、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは	る人数と1 平成27年度 人数 概 1 人	人当たり (現況) 算時間 12 H 12 H (現況) 44,710 61 44 <b>44,815</b> 0 0 0	りの年 平月 人数 1人 1人	間業務 或28年 概算 或28年 4	時間 12 H 12 H 12 H (4,710 60 41 <b>4,811</b> 0	平 人数 1人 1人	成29年月 概算日 1 1 29年月 44	表 日 2 H 2 H 2 H 5,710 60 41 ,811 0 0 0	人数 1人 1人	概算時間 12 H 12 H <del>130年度</del> 44,710 60 41 44,811 0 0 0 0
事業	容等 (成果の達成、及す 成果の 強行に要す 成 表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	る人数と1 平成27年度 人数 概 1 人	人当たい 度(現況) 算時間 12 H 12 H (現況) 44,710 61 44 44,815 0 0 0 0	りの年 平月 人数 1人 1人	間業務 或28年 概算 或28年 4	時間 12 H 12 H 12 H 14,710 60 41 4,811 0 0 0	平 人数 1人 1人	成29年月 概算日 1 1 3 29年月 44 44	表 日 2 H 2 H 2 H 5,710 60 41 ,811 0 0 0 0	人数 1人 1人	概算時間 12 H 12 H <b>30年度</b> 44,710 60 41 <b>44,811</b> 0 0 0
事業	容等 (成果の達成、及す 成、要す で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	る人数と1 平成27年度 人数 概 1 人	人当たい 度(現況) 算時間 12 H 12 H 12 H 44,710 61 44,815 0 0 0 0 0 44,815	りの年 平月 人数 1人 1人	間業務成28年 概算 成28年 4 4	時間 12 H 12 H 12 H 12 H 4,710 60 41 4,811 0 0 0 0	平 人数 1人 1人	成29年月 概算日 1 1 1 成29年月 44 <b>44</b>	表 H 2 H 2 H 2 H 2 H 3 H 4 H 5 H 5 H 6 H 6 H 6 H 6 H 6 H 6 H 6 H 6	人数 1人 1人	概算時間 12 H 12 H
事業	容等 ((成果の達成、及する) (成果の強力に要する) (成果の強力に要する) (成果の執行に要する) (成果の執行に要する) (成果の強力に要する) (成果の達成、及する) (成果の達成・職種別には、というでは、「は、ないでは、ないでは、「は、ないでは、「は、ないでは、「は、ないでは、「は、ないでは、「は、ないでは、「は、ないでは、ないでは、「は、ないでは、ないでは、「は、ないでは、ないでは、「は、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないで	る人数と1 平成27年度 人数 概 1 人	人当たい 度(現況) 算時間 12 H 12 H (現況) 44,710 61 44 44,815 0 0 0 0	りの年 平月 人数 1人 1人	間業務成28年 概算 成28年 4 4	時間 12 H 12 H 12 H 14,710 60 41 4,811 0 0 0	平 人数 1人 1人	成29年月 概算日 1 1 1 成29年月 44 <b>44</b>	表 日 2 H 2 H 2 H 5,710 60 41 ,811 0 0 0 0	人数 1人 1人	概算時間 12 H 12 H <b>30年度</b> 44,710 60 41 <b>44,811</b> 0 0 0
事	容等 ((成果の強力に要する) (成事務 種別 ) (大事務 報 種別 ) (大事 では、要する) (大事 では、要する) (大事 ) (大章 ) (大事 ) (大章 ) (大事 ) (大章	不成27年度   大数   概2   1 人   1 人   1 人   平成27年度	大当たい (現況) 算時間 12 H 12 H (現況) 44,710 61 44 44,815 0 0 0 0 44,815 44,815	Jの年 - 大数 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	間業務式28年年	時間 12 H 12 H 12 H (4,710 60 41 <b>4,811</b> 0 0 0 4,811 <b>4,811</b>	平 人数 1人 1人	成29年月 概算印 1 1 成29年月 44 <b>44</b> 44 <b>44</b>	表 日 2 H 2 H 2 H 5,710 60 41 ,811 0 0 0 0 0 0 0,811 ,811	人数 1人 1人	概算時間 12 H 12 H
事 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	容等  (成果の達成、及す 成 表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	る人数と1 平成27年度 人数 概3 1 人 1 人 平成27年度	人当たり (現況) 算時間 12 H 12 H (現況) 44,710 61 44,815 0 0 0 0 44,815 44,815	リの年 大 大 1 1 1 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	間業務年 成28年 成28年 4 4 4 4 4 4	時間 12 H 12 H 12 H (4,710 60 41 <b>4,811</b> 0 0 0 4,811 <b>4,811</b>	平 人数 1人 1人	成29年月 概算印 1 1 成29年月 44 <b>44</b> 44 <b>44</b>	度 	人数 1人 1人	概算時間 12 H 12 H
事	容等  (成果の達成、及する) (成果の執行に要する) (成果の執行に要する) (成果の執行に要する) (成果の執行に要する) (成果の達成、及する) (などの達成、及する) (などの達成、などの達成、などの達成、などの達成などの達成などの達成などのではなどのではなどのではなどのではなどのではなどのではなどのではなどのでは	不成27年度   大数   概2   1 人   1 人   1 人   平成27年度	人当たり (現況) 算時間 12 H 12 H (現況) 44,710 61 44,815 0 0 0 0 44,815 44,815	リの年 大 大 1 1 1 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	間業務年 成28年 成28年 4 4 4 4 4 4	時間 12 H 12 H 12 H (4,710 60 41 <b>4,811</b> 0 0 0 4,811 <b>4,811</b>	平原       人数       1人       平原	成29年月 概算印 1 1 成29年月 44 <b>44</b> 44 <b>44</b>	度 	人数 1人 1人	概算時間 12 H 12 H

ワ 成果物 L ※ 対象者:

Do【実行】 【進行管理】 6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)  レ計画どおり完了								
※計画を見直し完了、遅延、「 商工会が実施する商業振興事				己入するこ	<u>.</u>			
②投入実績				7 = 76	\_ <i>\</i> _	<del></del> -1		
決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正•流用額	<u> 予算額</u>		決算額			
事業費 7.成果結果	44,710,000		44	,710,000	44, / 1	<b>0,000</b> 100.0%		
①活動、投入実績から生じた	成果(物)							
前年度(今までの状		今年	F度(どう	いう状態	になったか	<b>\</b> )		
商工会に補助金を交付するこ	とにより、市内	商工会に補助金	を交付す	することに	より、地域	が情報紙、		
商工会に補助金を交付することにより、市内 商工業の振興を図った。 「得するマガジンHaはむら」の発行、地域ポ 「羽村タウン情報」を運営し、販売店や飲食 すく紹介し、これらの事業は、参加事業者と 評を博しており、参加店の業績の向上に結 た、経営改善のため、講習会や個別相談会 普及事業等を実施し市内商工業の振興を た。					店や飲食り 事業者と 向上に結び 別相談会	店を分かりや 消費者から好 び付いた。ま など経営改善		
②4.活動指標のPlan【計画】に	おいて、目標値			ſ	<del></del>	÷ + + +		
対象者(物)		本年度:目標	!但		本年!	度:実績値		
				⇒				
Check (評価) 8.評価 ①事業評価(改善等、課題を多	*見する視点)	<ul><li>◎・・・適切である</li><li>○・・・適切なもの</li><li>△・・・課題があり</li></ul>	)					
	価のポイント			頁目の着		課長評価		
妥 û ·上位施策(基本目標・施 当 要 ·今の社会情勢に見合う 性 ·利用者・対象者のニー	事業内容となっ	っているか	一加東池	本系に結び の必要性(		0		
効 (   ・活動手法を見直し、人(    率 法	牛費・事業費の	削減余地はないか	経費・	を落とさず 労力で事 いているか	務が執	0		
有 (成 ・事業の目標が達成され 効 果 性 )	にているか		─ 成果ス ─ いるか		が表れて	0		
②事業評価(今後の方向性に	ついての視点)		<u> </u>					
【今後の方向性】	高〔妥닄	当性•有効性〕				今後の 方向性		
B:事業の進め方の A:計画どおりに事業を進めること、又は、 改善の検討 より効果的に改善して進めることが適当 高 ← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討  低								
Action【改善】	I <sub>CP</sub>							

平成28年度 【	基本シート】										
1.基本項目	<b>本来</b> 力			部署	<del></del>		大環境 部	\\ <del>\</del>		産業振興課	
	事業名			年度	実施其	切间	事業種別自治事務(市	運営	于法	進行管理	
8 商店会等の活性	化		不明	年	継続		独自)	その他			
01				年							
02				<del></del> 年							
03				 年							
04				年 年							
05				年							
関連課			•								
1 — . — •	れあいと活力の	あふれる	⊧ち 施策	区分	19		商業	事業	番号	5	
2.事業の概要									•		
事 地域経済を支  業	え、にぎわい	のある暦	店会づく	りを促	進するが	ための	の支援を行い	います。			
内											
<u>容 </u>  根拠法令											
条例											
要綱等											
3.成果指標	- I <del></del>										
成  商店会への支  果	援										
果目											
<u>標 </u> 4.活動指標											
Plan【計画】	平成27年度	主(11121)					3か年計画				
		え(近ル)		28年月	_		元成29年度			30年度	
	個別訪問 518件		同左		1	司左		同左	<u>:</u>		
	平成27年12月到	見在									
	商店会の活性化		同左		F	司左		同左	<u> </u>		
事業内容	商店会事業への 街振興事業補助										
事業量等	大学等と連携し	た商店会	同左		F	司左		同左	;		
	活性化支援事業	きの実施	に			lej Æ			问在		
	羽村にぎわい音参加者数 4,500										
5.投入指標(成果											
①人件費 【事務	務執行に要す		:1人当た :度(現況)		間業務 成28年月		】   平成29年	- 唐	<u> </u>	<b>戊30年度</b>	
職層•職	種別		玩算時間 現算時間	人数	概算的			<del>- /2</del> 時間	人数	概算時間	
係長職		1人	360 H	1人		60 H		860 H	1人	360 H	
主事・主任職		1人	220 H	1人	22	20 H	1人 2	220 H	1人	220 H	
②総事業費 事業費の内訳(	単位·千田)	亚成27年	度(現況)	亚口	或28年 <i>[</i>	÷	平成29年	- 使	亚瓦	<b>戊30年度</b>	
事業費	<u> 구 (</u> 포.   1 ]/	1 19,41	16,421			<u>ヌ</u> 9,647		<u>ラス</u> 19,647		<del>230平度</del> 19,647	
人件費(係長聯			1,815			1,791		1,791		1,791	
人件費(主任・	主事職)		792		00	748		748		748	
総事業費(合計)			<b>19,028</b> 0		22	2,186 0	2	2 <b>2,186</b> 0		<b>22,186</b> 0	
都支出金			1,506		1	1,506		0		0	
受益者負担額			0			0		0		0	
			0			0		0		0	
その他特定財	<u> </u>		U			0		0		0	
その他特定財 一般会計繰入	、金		0			0		0		(1)	
その他特定財					20	0 0,680		0 22,186		0 22,186	
その他特定財 一般会計繰入 起債 一般財源(人化 財源内訳(合計)			0					•			
その他特定財 一般会計繰入 起債 一般財源(人付 財源内訳(合計) ③コスト計算	件費含む)	1-+11.1.7	17,522 19,028		22	0,680	2	22,186 2 <b>2,186</b>		22,186	
その他特定財 一般会計繰入 起債 一般財源(人 財源内訳(合計) ③コスト計算 ア市民	牛費含む) 56,281 人		0 17,522 <b>19,028</b> 1人あたり	りのコス	<b>22</b> ストは、	0,680	2	22,186 <b>22,186</b> 394 円		22,186	
その他特定財 一般会計繰入 起債 一般財源(人付 財源内訳(合計) ③コスト計算	牛費含む) 56,281 人	における	0 17,522 <b>19,028</b> 1人あたり 1人あたり	りのコス	<b>22</b> ストは、	0,680	2	22,186 <b>22,186</b> 394 円		22,186	

平成28年度 【事後評価】				
TALL OF THE				
Do(実行) 【進行管理】 6.実施結果(本年度における、4.活動指標	し これる比価の針	<b>m</b> \		
			l·⊞ zıt [	
□計画どおり完了 □計画を見直し完了				中断
①活動実績(Plan【計画】及び事中評価にお				他したか)
※計画を見直し完了、遅延、中断となった。 企業活動支援員による個別企業への訪問				
を図った。(平成28年度 商業系事業所訪			の向心女:	主体の位にし
羽村東口商店会・本町西口商店会、マミー			べい人車業	について 市
の「新・元気を出せ商店街事業費補助金」		同心女が刊り	・ノーデネ	10 20, 6, 11
羽村東口商店会・本町西口商店会が11月		楽祭」を実施し、	マミーショッ	ッピングセン
ター商店会については、10月にハロウィン				, _ , ,
②投入実績				
決算の内訳(単位:円) 予算額(当初		予算額(最終)	決算額	
事業費 19,647,0	500,000	20,147,000	20,14	<mark>[6,239] 100.0%</mark>
7.成果結果				
①活動、投入実績から生じた成果(物)		き度(どういう状態	1-+>-+-+	<u>, )</u>
前年度(今までの状況) 企業活動支援員が企業訪問を行い、企業	企業活動支援員			•
の経営相談、経営診断等を実施した。	正米/133又版貝			
これまで商店会事業については、企画・運	商店会事業への			
営について人的支援を行っていたが、本年				
度より東京都補助金を活用して市からの補				
助も実施し、人的・財政的両面からの支援	音楽祭」や「ハロワ			
による強化を図った。	性化を図ることが	<b>できた。</b>		
市内共通商品券★スペシャルおよび第8弾				
を発行し、市内の消費喚起を行った。				
また、羽村地域産業振興懇談会を開催し、				
産業振興計画策定報告および創業支援事				
業計画策定のための意見交換・情報共有	<u>₹</u>			
行った。				
商店会が実施するイベント事業への支援を 行い、事業による売上増加、商店会への新				
ができた。				
②4.活動指標のPlan【計画】において、目標		보수		
対象者(物)	本年度:目標		木年[	
77361737	777汉:山水		771-7.	文:入根に
		⇒		
Check【評価】	◎・・・適切である	が、今後、より対	果的に改	善するもの
8.評価	〇・・・適切なもの			
①事業評価(改善等、課題を発見する視点	) △•••課題があり			
項目 評価のポイント		項目の着	眼点	課長評価
妥 🖟 ・上位施策(基本目標・施策)を達成す 当 要 ・今の社会情勢に見合う事業内容と 性 ・利用者・対象者のニーズ(需要)は		、!  施策体系に結:	びつくか	
妥 (☆  ・上位施策(基本目標・施策)を達成す   当 要  ・今の社会情勢に見合う事業内容と  性 性  ・利用者・対象者のニーズ(需要)は		→事業の必要性		
性 🖰 ・利用者・対象者のニーズ(需要)は				
効 ( i 活動手法を見直し、人件費・事業費率 法性 ( )	の削減余地はないか			
<del>挙</del> 法		経費・労力で事		
		行されているか	<u>'</u>	
有 <sup>・</sup> 事業の目標が達成されているか 効 果		対成果又は効果	が表れて	
効 果 性 <sub>○</sub>		いるか		
፲ェン   ②事業評価(今後の方向性についての視点	<u> </u>	<u>i</u>		
	; <u>/</u> 妥当性∙有効性〕			今後の
▶フタツルドリエ』 同(3	スコは「行刈は」			方して
B:事業の進め方の A:計画どおり	に事業を進めること	- <b>V</b> (†		/J [ <sup>1</sup> ]   <u>T</u>
	たみ業を進めること に改善して進めるこ			
← C:事業規模・内容又は実施主体の			加率性〕	Λ
D:事業の抜本的見直し、休止・廃				A

低

## Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性

## 評価(所管課長)

企業活動支援は、市の産業振興の重要施策であり、引き続き継続していく必要がある。また、商店会の活性化事業については、今後も継続していくが、商店会が独自に行うスタンプラリーや抽選会など、個店の魅力を引き出す取組みの充実を図る。